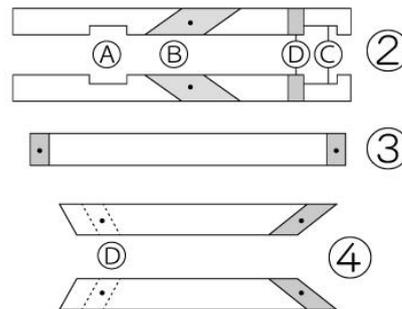
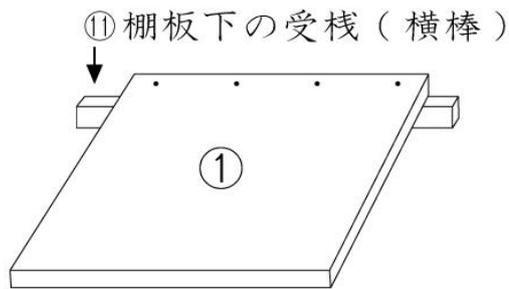


中・大・特大 棚板取付説明書

(部品詳細)

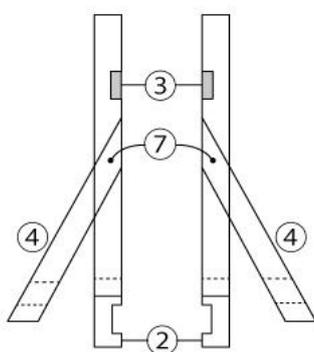
- ①棚板1枚
- ②つり材(縦の柱)2本
- ③横継ぎ材1本
- ④筋交い2本
- ⑤ビス 皿頭25mm 4本
- ⑥ビス ナベ頭25mm 2本
- ⑦ビス ナベ頭16mm 2本
- ⑧タッピングビス 65mm 6本
ボード用強化ネジ 6個
- ⑨カンコ鉾(金色釘隠し金具)4分 6個
- ⑩ベニヤ板 20mm×15mm 1枚



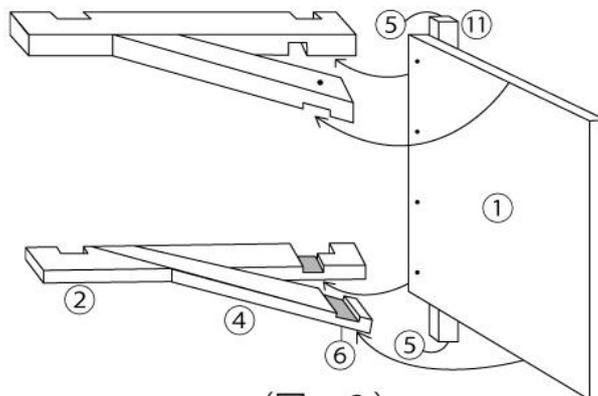
※付属のビスで短い場合は、取り付け場所に合った長さのビスをお求め下さい。

(棚板組立方法)

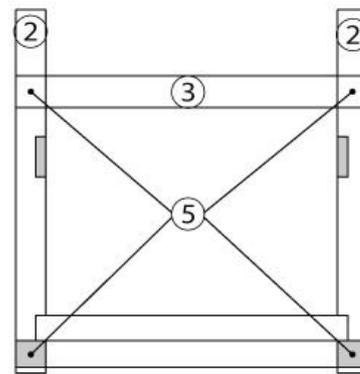
1. 神棚板はおまつりする部屋の西から北の壁面(お宮が東から南向き)に取り付けます。
2. ②「つり材」を横にして④「筋交い」を⑦「ビス」で②「つり材」のBへ取付けます。(図-1)
3. ②「つり材」を横にした状態で②「つり材」のD部分の切りかきと、④「筋交い」のD部分の切りかきに合わせて①「棚板」を入れ込み、⑪「受残」からC部分へ向けて⑤「ビス」で止める。
④「筋交い」のD部分から①「棚板」へ⑥「ビス」で止める。
左右同じようにして完成です。(図-2)
このとき同封されているベニヤ板(20mm×15mm)を(図-4)のように合わせて棚板と吊棧との直角を確認してから、しっかりと取り付けて下さい。
4. ③「横継ぎ材」を⑤「ビス」で②「つり材」のAに取り付けます。(図-3)



(図-1)

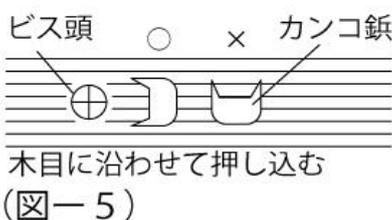
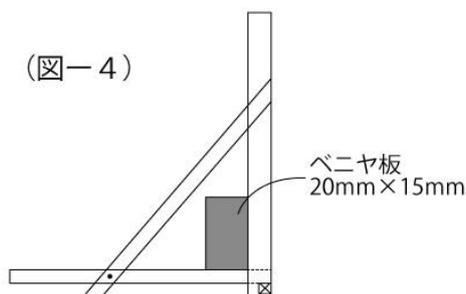


(図-2)



(図-3)

(図-4)



(図-5)

(棚板取付説明書)

1. 完成した棚板を壁に取り付けるときは、②「つり材」と⑪「棚板下の受残(横棒)」、または③「横継ぎ材(柱の間にある横棧)」から壁の胴縁へ向けてタッピングビス+ボード用強化ネジ(※注意)を用いて、しっかりと取り付けます。
2. 棚板の②「つり材」、⑪「棧(受残)」または③「横継ぎ材」に取り付けビス用の下穴を開けます。
(※キリ等で必ず下穴を開けてからビスを打ってください。棧が割れる恐れがあります。)
3. 開けていただいた下穴から壁内の下地(軽量鉄骨や木製根太)に⑧「タッピングビス」で止めます。

※取付場所の壁内に下地がなく、石膏ボードの場合はボード用強化ネジを使って取付して下さい。

4. 棚板を取り付け位置まで持っていき下穴の位置を沿わせてボード用ビスを取り付ける位置を決めます。
5. ボード用ネジを取り付けるのに、壁にキリなどで下穴を開けておきます。
プラスドライバーでボード用ネジを壁面と同じになるまでねじ込みます。

※ネジを回しきらないように注意して下さい。
ネジを空回りさせてしまうと効果がなく、取付できません。

6. ボード用ネジがつかましたら、ビスで棚板をしっかりと取り付けて下さい。

※棚板取付位置にボード取付用下地の軽量鉄骨や木製根太や胴縁がある場合は、ボード用ネジは使わずにビスのみで止めて下さい。

※必ず2本は壁内の下地にボードビスを使わずに止めて下さい。
ボード用ネジだけでは使用強度に不安があります。

※しっかりと取り付いたことを確認してから、お宮・お供え道具をおまつり下さい。

7. ⑨「カンコ鉸」は、壁への取り付けに使用したビスの頭を隠すための飾り(かざり)金具です。2本の足を木目に沿わせて、指で押し込みます。
堅くて最後まで押し込めない場合は、付属のベニヤ板などをカンコ鉸にあて、軽く金槌などで打ち込んで完成です。(図-5)

※このとき、強く叩きすぎるとカンコ鉸が凹んでしまいますので注意して下さい。

